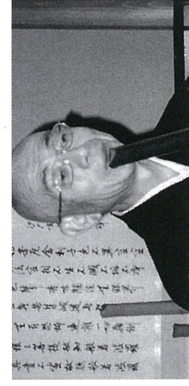




富田清邦（地唄）

1945年愛知県生まれ。土居崎正富検校に師事、その後上京し初代富山清琴に師事。以来、野川流三弦・継山流（広義の生田流）箏曲を伝習。1972年に巻物伝授、富筋の芸系に加えられる。1984年からリサイタルを開催し、翌年、文化庁芸術選奨文部大臣新人賞受賞。1991年、文化庁芸術祭受賞。清和会主宰。現在、社会福祉法人日本盲人会連合音楽家協議会会長、杉並三曲協会会長ほかの役職にあり、邦楽の普及、後進の指導にも力を注ぐ。



浜田剣風山（尺八）

1942年東京生まれ。1979年都山流大師範昇格。静岡に尺八道場「竹風会」を設立後、静岡を拠点に活動。欧米からアジアまで世界各地の音楽祭に多数出演し、邦楽普及の振興に努め国際的交流を図る。

【ジャカランダとは】

移民として南米に渡った日本人が「桐擬き（キリモドキ）」と呼んで愛した花。またハワイでは日系人が日本の桜を偲んで「ハワイ桜」や「紫桜」と呼んでいる。日本での生育は大変難しく、宝泰寺の庭に生えているジャカランダは、先代住職がスペインより種を持ち帰ったもの。温室で13年、防寒設備の中で3年、路地に植え付けて20年、36年の歳月をかけて育った。毎年6月上旬から中旬に掛けて見事な紫色の花を咲かせ、宝泰寺の名物となっている。

【地歌（じうた）とは】

地歌は地唄とも書き、三味線音楽の一種目。三味線音楽は大きく分けて「歌もの」と「語りもの」があるが、地歌は歴史的に最も古くから存在する音楽であり、今日の多くの三味線音楽は地歌から分かれて発展したと言われている。地歌の音楽の特徴は、歴史も長く盲人音楽家らによって作り上げられ洗練されて来ただけに、三味線の技法が高度に発達し、特に繊細微妙な技法に富み、内面的、内省的である。また歌ばかりでなく、器楽的な展開も特に著しく、哲学的、高踏的な音楽表現も多いこと、多音的な合奏が色々な形で発達しているのも特徴である。特に箏曲や胡弓、尺八との交流により、三曲合奏が行われる。他の三味線音楽である長唄や義太夫節、荻江節などにもさまざまな影響を与え続けてきた。

サルナートホール

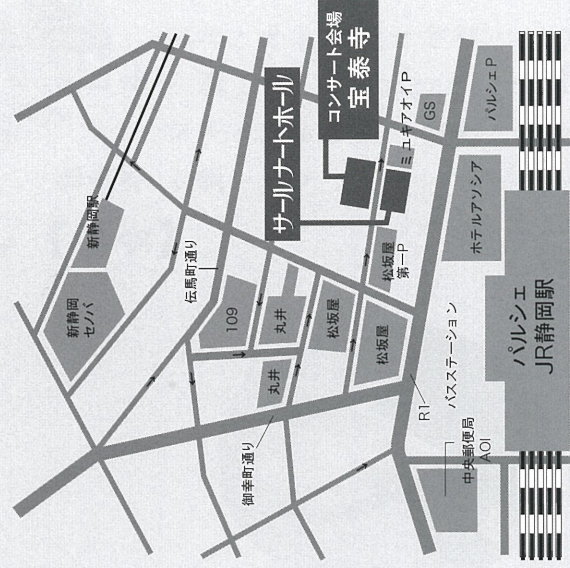
【連絡先】 〒420-0857 静岡市葵区御幸町 11-14
TEL : 054-273-7450

【受付時間】 10:00~17:00 / 日曜日休日

(※静岡シネ・ギャラリは年中無休)

【アクセス】 静岡駅より徒歩3分

松坂屋立体駐車場より東へ30M



■ 有料駐車場あり

[ミュキアオイパーキング] Tel.054-221-8892

ホール東側隣り ※1.55m以上の背丈車庫不可